

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2014年1月1日

124号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

2014
平成26年

謹賀新年



レダ埠頭から望む、南米の国際河川パラグアイ川



パンタナールの水辺で遊ぶ馬たち

あけましておめでとうございます

皆様の内外の篤いご支援のお陰で、今年も希望の新年を迎えました。

中国のPM2.5等による空気汚染は深刻で、日本にも影響が徐々に押し寄せてきています。このことに象徴されるように、今やどの国も一国の問題が一国でとどまらず、地球全体に影響を与え、異常気象を頻繁に起こしています。国連や各国政府だけでなく、ひとりひとりの自覚が求められています。

私達は自然環境保護を訴え、対策に取り組み実践して来ました。パラグアイにおける植樹活動だけでなく、今年は国内の被災地をはじめ、日本の全国各地で地域活動を広げていきます。その為、研修会や講演会などの啓蒙活動と共に、実践活動を通して、支部組織化と会員拡大を進めて行く予定ですので、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

また、昨年五月三日に現職のフランコ大統領ご一行をレダにお迎えして成されたパラグアイ川へのパク稚魚放流式典は、私たちだけでなく、チャコ地方にとつても、国家にとつても、画期的出来事として歓迎されました。アスンシオン大学との協力連携は今も続き、去る十二月にも、再度孵化を成功させ、今後百万匹の稚魚放流を目指しています。

本年の第十四回国際協力青年奉仕隊による教育支援活動も一層国際色を高めて、日本、パラグアイ、ブラジルの青年達に加え、米国の若者達も合流する予定です。今年も皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。

二〇一四年元旦

南北米福地開発協会会長

飯野貞夫

2013年、レダ基地では

★パクーの大量人工孵化に初成功



人工孵化成功の喜びを表現するレダ基地スタッフ



パクーの稚魚を放流

大きな実を結びました。スタッフのたゆみない努力が、大きな実を結びました。

マグノ教授を再び迎えた十二月、さらに多くの受精卵を孵化することにも成功しました。今回生まれた仔魚の数は、推定で二十万匹ないし三十万匹です。優れた親魚を育てるなどして、スタッフのたゆみない努力が、大きな実を結びました。

いる当協会の養殖プロジェクトにとって、とても大きな意味を持つ一歩になりました。指導をしてくださった、アスンシオン大学の



養殖池で優れた親魚を選定する作業

一月三日、パクーの大量孵化に成功しました。三月初めには体長約5cmの稚魚に育ち、順調な生育ぶりがかがえました。この成功は、先住民コミュニティでの完全ローカル養殖、パラグアイ川への放流、低コスト養殖技術の普及などの実現に向けて取り組んでいる



大統領がレダ基地にて記念植樹

も改めてチャコ地方という過酷な環境下での活動の意義をかみ締めました。

★大統領を迎えて稚魚の放流式

稚魚をパラグアイ川に放流しました。放流式典には、農牧省大臣と副大臣、環境省大臣、および警護スタッフが大統領に同行しました。フランコ大統領は、かつて州知事時代に淡水魚の養殖を指揮した経験があります。また、パラグアイおよび南米大陸の今後の発展の鍵はチャコ地方にあるとの考えから、南北米福地開発協会の事業活動に、率直な喜びと感謝を述べられました。この大統領の熱のこもった言葉



河畔で放流式に臨む大統領(手前)

五月三日、フェデリコ・フランコ大統領が、パラグアイ共和国の大統領として初めてレダ基地を訪れました。そしてパクーの稚魚放流式典の主賓として、チャコ地方最初の養殖



折り紙教室の真剣な眼差し(トロパンパ村)



ミンガグアス市の高校生と共に植樹活動



トロパンパ村の小学校にて住民たちとお別れの朝

加・協力しました。市の緑の再生計画に参加した。伐採し、都市を造ったアルト・パラナ州ミナグアスの市を造った。過去に森を過伐採し、環境保全活動、そして教育支援と、そしてディアナ村への

★第13次国際協力青年ボランティア隊が精力的に活動

八月二六日から九月十一日にかけて第13次国際協力青年奉仕隊が活動しました。パラグアイ国、チャコ地方過疎地トロパンパ村、マリア・アウシリアドラ村、

★創造力を発揮した日本の青年たち



ドラム缶を利用して燻製器を開発

五月中旬から約二ヶ月、三名の日本の若者がレダ基地において、様々な新企画に挑戦しました。豚肉および魚肉ソーセージ、燻製器、ベーコン（左の写真）、ニーム蚊取、ボカシ肥料ほか、現地調達素材

を用い、創意工夫をこらして研究開発しました。今後も彼らに続く青年やシニアたちがレダ基地に中長期で赴任し、優れた産品を育ててくれることが望まれます。



★レダ産パクーと豚の販売が好評

レダ基地で養殖したパクーと、



のびのびと暮らす豚ランドの豚たち

豚ランドで育成した豚とを国際航路の船舶や、近隣コミュニティに販売開始しました。健康的な肉質と美味しい味が好評を得ています。



★パラグアイのアフアラ副大統領と会見



アフアラ副大統領に活動を報告

九月十八日、パラグアイ共和国新政権のファン・アフアラ副大統領と会見し、第13次国際協力青年奉仕隊の報告と、レダのプロジェクトに関して写真を見せながら説明しました。カルテス大統領も政策の一つに貧困撲滅を掲げていて、中でも先住民のための支援対策は重要な課題であるので、政府と私たちが色々協力できたらい良いと言われました。そして私たちがその地域に実際に住んで活動していることをとても高く賞賛してくれました。

★農牧省副大臣がレダ基地を訪問



ゴイブル副大臣（左から二人目）

十一月十日、ゴイブル農牧副大臣がレダ基地を訪れました。まずはプールや建物に感銘し、私たちの継続的な活動に目を見張って調べて行かれました。同行したご子息はすべての写真をしっかりと取っておくように、大統領や国の指導者たちに見せないといけないからと言われたことです。ゴイブル副大臣は、牧畜、養殖部門のパラグアイにおける実質の最高責任者です。

★水耕栽培試験に新たな光



レダ基地第2農場のサトイモ田

農業分野では、水耕栽培に更なる力を投入しています。これまでの80m×15mの水耕田二面に加え、去る十二月に新しく二面を造成しました。中国のタロイモ、日本のサトイモ、



パラグアイの日系人が栽培しているタロイモ、ヤムイモ（上の写真）等の試験栽培を展開しています。雑草の問題も無く、高温に強く（水温の高さは影響がない）順調に生長するので、よい結果を期待しています。

★飯野会長夫妻がレダ基地に

当協会の飯野会長が、一月と十月の二度



プレゼントを配る飯野会長夫妻

にわたり、レダ基地の活動現場を視察・協議しました。過酷な自然環境の中で献身的に活動しているレダの全員に、日本の皆様方支援者の心も併せて届けました。

学生に国際貢献の重要性を訴える講演会



福岡における講演会で学生達に語る柴沼事務局長

毎年行われている国際協力青年奉仕隊を支援するため、切手、はがきの収集を行ってくれている学生たちが集まり、南米での活動を報告する集会を十二月一日、福岡にて柴沼事務局長が行いました。百名ほどの学生が集まり、地球の裏側での活動に熱心に耳を傾けておりました。

講演会を企画した都氏からは、『魅力的な南米レダの話に惹き込かれ、誰も私語することなく熱心に聞いていたのが印象的でした。終わった後、何名かより実際にどういった南米に行けるのかという質問があったほど、多くの学生たちの心に深く伝わった内容だったと思います。』とのコメントがありました。

南北米福地開発協会スタッフ会議開催

十二月六日、テクノ川崎の会議室にて、スタッフ、及び有志の方々と、活動方針をテーマとした会議を行いました。

午前中は、二〇一三年までの南米レダでの活動の総括を、飯野会長から報告がありました。今後、二〇二〇年までを区切りとして、七年で自立できる基盤をなすことを目指し、活動していくことになるので皆の総力を上げて行きたいと語られました。その後、レダ基地担当者からの各プロジェクト毎の計画案も報告され、その上で、質疑応答の時間を持ちました。

午後は、柴沼事務局長から、二〇二〇年までの日本における活動と目標について、提案と説明があり、質疑応答が活発に行われました。今後は南米における活動への支援とともに、日本での活動を強化することを確認しました。

① 今日まで事務局を中心として活動を進めて来ましたが、今後は支部体制を固め、会員を中心とした地域活動により力を注ぎ、植樹活動や環境問題、食糧問題、人口問題などをテーマに、研修会、研究会、講演会、親睦会など様々な活動が展開していくことになりました。

② 南米への支援は継続し、特にレダ基地からは、技術の経験や知識のあるシニアの方を送って欲しいとの強い要望がありますので、是非、素晴らしい人材を発掘していきたいと思っています。部門は機械・電気、牛、豚、養殖、農業、林業等です。また、世界のために貢献したいという意欲ある若者も求められていますので、派遣できるようご協力ください。



活動方針を話し合う参加者たち(テクノ川崎)

一日研修会のご案内

参加しやすく、啓発情報の濃い研修会として、参加者の方々からご好評の、パンタナール一日特別研修会を開催いたします。

① パンタナール開発の理念とその開拓の歴史

② ここまで進んだ地球環境問題

③ 今後の当会の展望

日時 二〇一四年三月二日(日)

場所 大山街道ふるさと館

J R 南武線・東急田園都市線、溝の口駅から徒歩七分

参加費 二〇〇〇円

(資料代と昼食込み)

お申し込み、お問い合わせは、下記の事務局まで。

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座

10180-77680471

Eメール : office@asd-nsajp

ホームページ : http://www.asd-nsajp

地球家族として
自然を守りましょう

南北米福地開発協会

会員募集中

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円です。毎月、パンタナール通信をお送りします。また、各種のセミナー、エコツアー等への案内をいたします。